

# バージョンアップの仕方

※レジとしてお使いの方（買取・販売機能をお使いの方）で、「OPPOS ドライバ Ver. 2.67J」もしくは「2.68J」へのバージョンアップをされていない方は、まず、説明書「第1部」7ページ以降をご参照になり「OPPOS ドライバ Ver. 2.67J」もしくは「2.68J」にバージョンアップしてから以下の作業を開始してください。

この操作の仕方は、バージョン Ver. 3 を例に説明をしております。

——現データの保存——（引き継ぐデータがない方は、以下の操作は不要です。）

※ 今回の Ver.3 は、前回、皆様に配布しております Ver.2.14 とは、異なるプログラムのため、Ver.2.14 は残ったまま、Ver.3 がインストールされます。したがって、通常、下記の現データの保存作業をしなくても復元は可能ですが、念のため、保存されておかれることをおすすめいたします。

※ 弊社ホームページ等から Ver.3 以降をインストールされておりますお客様は、基本アプリケーション DISK を再インストールすることで、独自商品や買取・販売等のデータが消えてしまいます。現在のデータを引き継ぐ必要がある場合は以下の手順で操作してください。

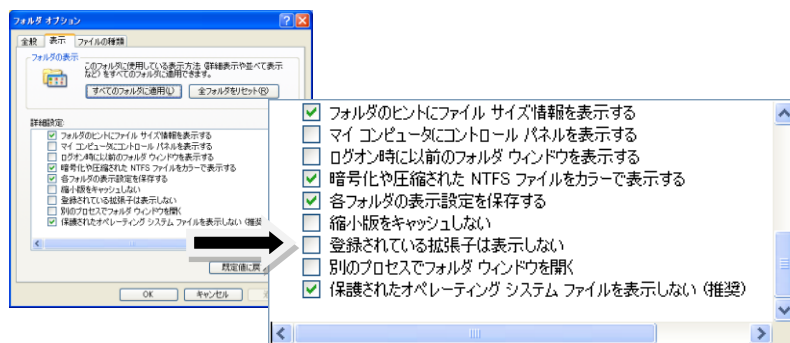
独自価格、商品個数データ、販売・買取データ等、現在のデータをマイドキュメントに保存します。

1. 「マイコンピュータ」の「ハードディスクドライブ」の中の「Server 業務支援システム PosPos Ver.3」をクリックすると、下記のウィンドウが表示されます。

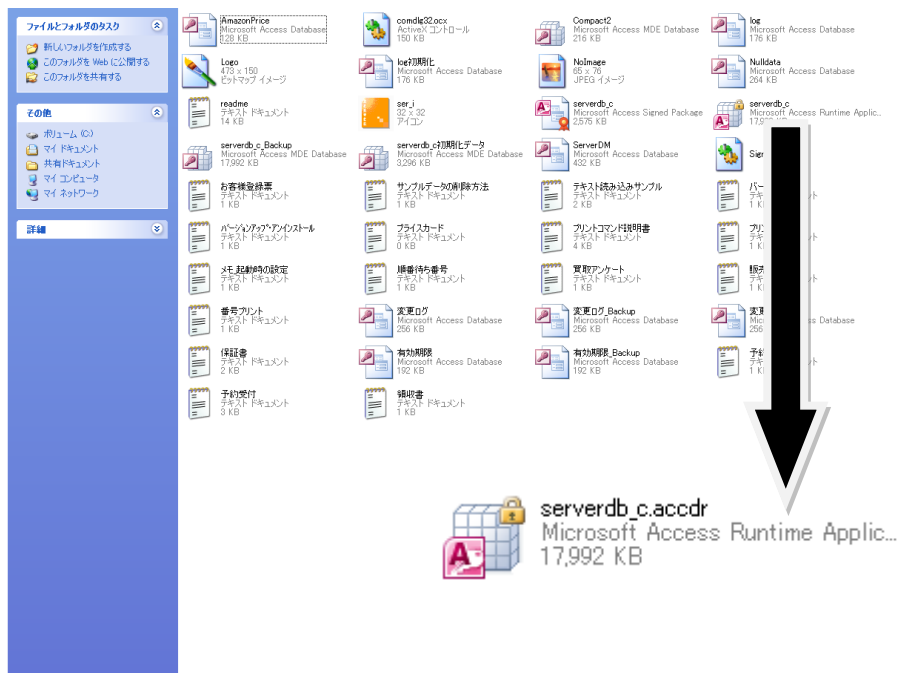
「serverdb\_c.accdr」を選択する為、拡張子が表示されていない場合は以下の手順を行ってください。

◆ 「Server 業務支援システム PosPos Ver.3」をクリックした後、[ツール]バーを選択し[フォルダオプション]を開きます。

◆ [フォルダオプション]の[表示]をクリックし、『登録されている拡張子は表示しない』のチェックをはずします。拡張子が表示されていることを確認し、「serverdb\_c.accdr」を選択してください。



2. 「serverdb\_c.accdr」 を、選択してください。



3. 「serverdb\_c.accdr」 をコピーして「マイドキュメント」等の分かりやすいところに保存してください。

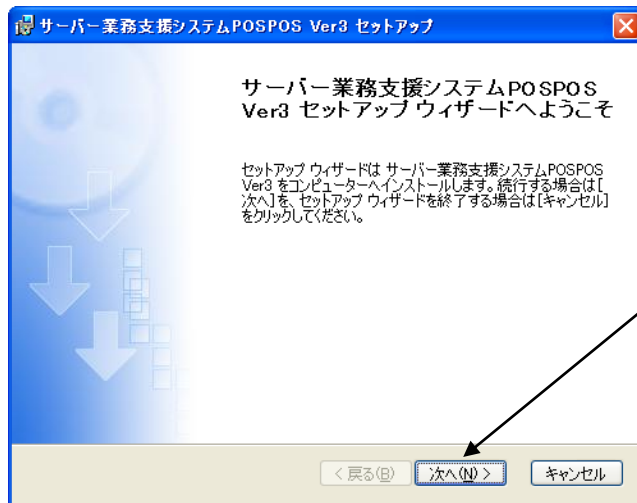
なお、ロゴ (Logo.bmp)、領収書 (領収書.txt) などメモ帳を使用して編集してある項目がございましたらコピーして同じように保存してください。

## ——基本アプリケーション DISK のインストール——

1. 「基本アプリケーション DISK」を入れる前に、使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。終了させないでバージョンアップを実行した場合、エラーが起きる可能性があります。
2. 「基本アプリケーション DISK」もしくは、当社ホームページよりダウンロードされたファイルの「SETUP.EXE」を起動してください。

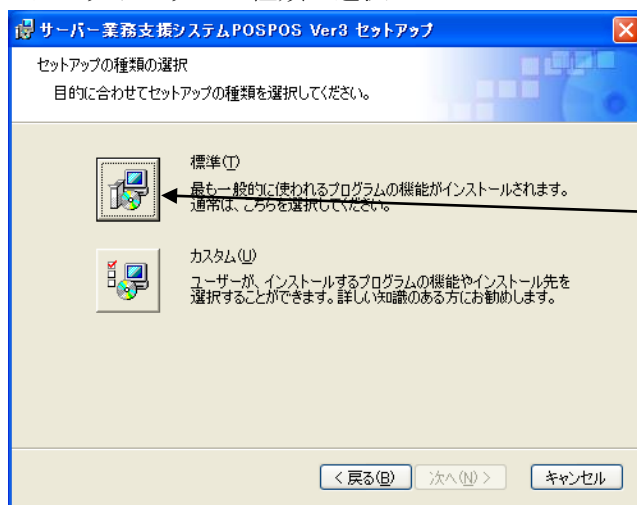
※このとき、すでに、Ver.3 以降をインストールされている場合、「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」で、「業務支援システム PosPosVer.3」と「Microsoft Access Runtime2010」を削除してください。

3. セットアップ画面が表示されます。



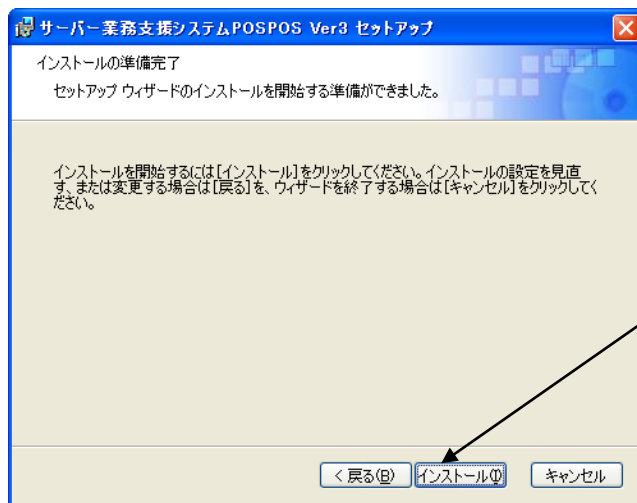
「次へ」をクリックしてください。

4. セットアップの種類の選択



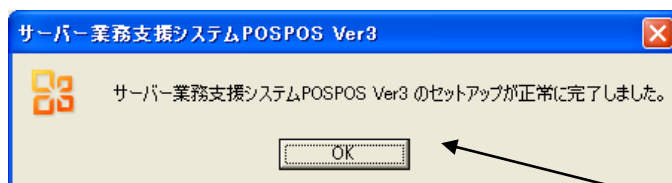
「標準」を選択して「次へ」をクリックしてください。

## 5. インストールの準備完了です。



「インストール」 ボタンをクリックして、インストールを開始してください。

## 6. セットアップの完了です。



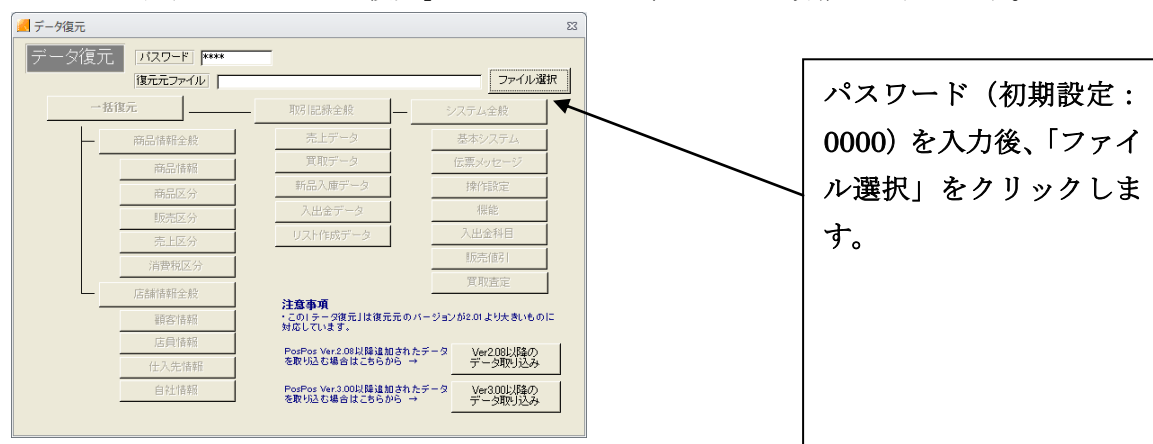
インストールが終了しました。「すべてのプログラム」から「業務支援システム PosPosver.3」をクリックして立ち上げてください

「業務支援システム PosPos Ver3」の基本アプリケーション DISK には、  
サンプルデータが入力されております。  
最新のデータに更新してお使いください。

## ——前データの引継ぎ——（引き継ぐデータがない方は、以下の操作は不要です。）

※店独自の価格・商品等を入力されている方、PosPos のレジ機能をお使いの方は、以下をご参照になり、独自価格、商品個数データ、販売・買取データ等、バージョンアップ前のデータの引継を行ってください。

1. 新しくインストールされた「Server 業務支援システム PosPosVer3」を立ち上げ、メニュー画面から「データ復元」メニューに入り、データの引継ぎを行います。



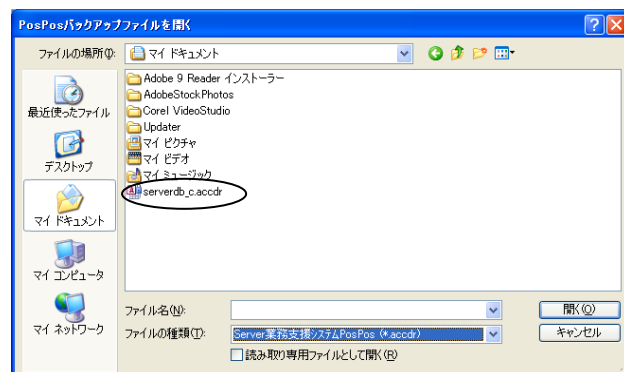
2. ファイルを開く場所を指定します。

### < A > Ver.2.14 からのデータ引継ぎの場合

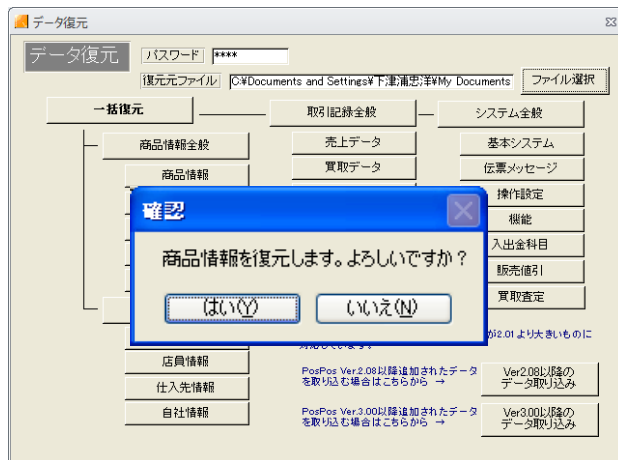
「マイコンピュータ」→「ハードディスクドライブ」→「Program Files」→「Server 業務支援システム PosPos Ver.2.1」の中の「serverdb\_c.mde」を選択してください。また、マイドキュメント等に保存されている方は、下記< B >でも可能です。

### < B > Ver.3 以降からのデータの引継ぎの場合

—現データの保存—の3で「serverdb\_c.accdr」を保存された先（「マイドキュメント」等）を選択してください。

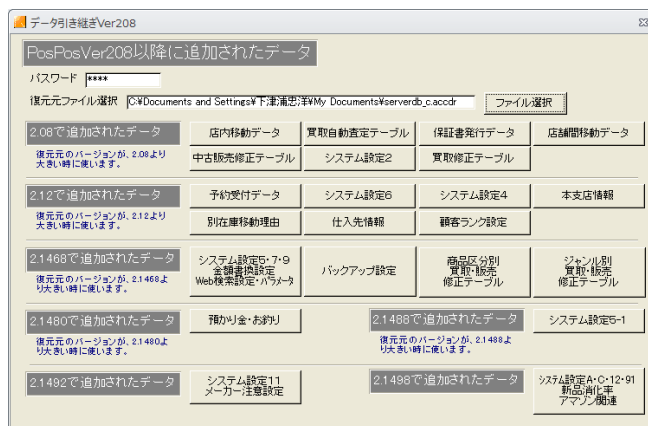


3. 「一括復元」をクリックすると、各項目の復元が開始されます。



項目別に「～を復元します。よろしいですか?」という確認メッセージが表示されますので「はい」をクリックしてください。確認メッセージが表示されなくなったら終了です。  
基本設定の引継ぎはこれで終わりました。

4. Ver.2.08 以降から追加されたプログラムのデータの引継ぎがある場合は、続けて「Ver.2.08 以降のデータ取り込み」「Ver.3.00 以降のデータ取り込み」をクリックして必要な項目を復元してください。



前述 2.の<A><B>と同じようにファイルを開く場所を指定し、「2.08以降」「3.00 以降」の項目を全て復元してください。

6. データ復元の完了です。これで「Server 業務支援システム PosPosVer.3」に、以前のデータが引き継がれました。